

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	花と緑の育成事業			事業番号	019-103
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園緑地整備 課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進
		有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(5)陸の豊かさを守ろう	ターゲット	15.1,15.2,15.5	
		有	取組	都市緑化の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	都市部における緑地面積※市域から南部丘陵エリアを除いた緑地面積			
		有	現状値	2,256ha(2019年度)	目標値	2,262ha(2023年)	
2	関連計画	緑の基本計画、生涯学習推進プラン					
3	事業開始年度	令和 2 年度	点検年度	令和 5 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市緑地法、堺市緑の保全と創出に関する条例、堺市基金条例					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、(公財)堺市公園協会					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、事業者、各種団体（花のボランティア活動支援事業団体「花いっぱいさかい」約460名、みどり活動支援事業活動者約1,200人）ほか			対象数	823,731	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	公園をはじめとする公共施設や、地域会館、共同住宅、事業所などの民有地のオープンスペースにおいて、市、市民、事業者が協働のもとに取り組む花飾り活動や緑化活動に対して、市は活動に必要な資材等の支援、活動に対する顕彰、緑化啓発、公園等公共施設の緑化を適切に行うことで、市、市民、事業者が役割を適切に分担しながら花と緑の育成事業を進めることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>【活動支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり活動支援…地域緑化活動を行う市民団体への園芸資材等を支援 ・花のボランティア活動支援…市民団体“花いっぱいさかい”への園芸資材等を支援 ・平成の森づくり…市民団体「堺千年の森クラブ」に対して園芸資材等を支援 <p>【緑化啓発と顕彰】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺市緑化祭…緑化推進、普及啓発、緑の保全に関する催し及び都市緑化の推進等に顕著な功績のあった方の表彰 ・花の名所対応…浅香山緑道つつじの警備 <p>【公共施設緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民花壇等管理運営…市民及び事業者との協働による駅前フラワーベース等の街なか拠点花壇の維持管理 ・公園等公共施設緑化…花と緑のまちづくりを進めるための公園等への樹木の植栽 ・はなみどり基金（都市緑化）…花と緑のまちづくり活動に必要な財源の確保 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(公財)堺市公園協会					
10	公民連携・協働事業	花のボランティア活動支援事業団体「花いっぱいさかい」、みどり活動支援事業活動者					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
11 市民緑化活動に参画及び自立して活動する年間団体数 (みどり活動支援事業)	団体	目標値	70	72	79	81
		実績値	77	77		
		達成率	110%	107%		
当該指標を選定した理由		「堺市緑の基本計画」において、令和3年度の目標を参加団体数72団体(校区)としており、その目標を段階的に達成するために年度ごとの目標を設定した。				
目標値の設定根拠・算出方法		年間2団体の増加を目標としている。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
12 市民緑化活動を未実施の校区に行った啓発活動	校区	目標値	—	26	16	
		実績値	—	26		
		達成率	—	100%		
当該指標を選定した理由		例年、花のボランティア活動等の横のつながりを通じ啓発活動を行っていたが、令和3年より、未活動校区に直接声かけ等、周知徹底や啓発活動を実施することで、活動団体の増加をめざすため。				
目標値の設定根拠・算出方法		市内全校区(93校区) - 自立して活動する校区 (11校区) - 既活動校区(66校区) = 16校区				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	花と緑の育成事業	事業番号	019-103
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	137,652	112,081	109,389	86,419	86,764	
13 財源内訳	国支出金				0	
	府支出金				0	
	市債	4,200	3,400	2,700	900	0
	その他 (はなみどり基金)	8,044	5,932	32,834	15,496	14,534
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	125,408	102,749	73,855	70,023	72,230	
14 人件費 (b)	13,770	13,940	13,940	13,940	13,940	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	151,422	126,021	123,329	100,359	100,704	

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	緑化推進を目的とした市民協働事業等	R3	決算	72,576	66,463	花の名所関連警備業務	R3	決算	3,185	3,185
		R4	予算	76,377	66,843		R4	予算	4,000	4,000
	公園樹植栽整備工事ほか	R3	決算	1,120	156	緑化樹配布業務	R3	決算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	300	300
	その他報償費	R3	決算	19	19	施設等修繕料	R3	決算	0	0
		R4	予算	50	50		R4	予算	663	663
	消耗品費	R3	決算	200	200	印刷製本費	R3	決算	0	0
		R4	予算	338	338		R4	予算	36	36
	原池圃場設備購入費	R3	決算	9,319	0	荒山公園圃場ビニールハウス改修工事	R3	決算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	5,000	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分		単位	令和2年度	令和3年度
17	① 市民緑化活動に参加した年間団体数 (みどり活動支援事業)	団体	77	77
	② 上記①にかかる年間経費	千円	2,744	2,722
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	35,636	35,351
備考 (算出についての説明等)		みどり活動支援事業に参加した団体(校区)には、年間1校区あたり5万円を上限とし、各校区の活動団体より申請のあった緑化活動資材を支援している。上記年間経費は、実際に支援した資材の実費を記載。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 都市緑化を進めるうえで、緑の効果として「心のケア」「癒し」等が考えられるが、市民に与える影響を具体的な効果として図ることが難しいことから、費用対効果を数値で記載することが難しいものの、緑化活動に必要な緑化資材等の支援を行う事等により、地域活動を支える人々との連携を強化しながら、市民主体の花と緑のまちづくりを推進することができた。なお、市民緑化活動に参加した団体数は横ばいであり、それに対するコストも横ばいとなっている状況である。また、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、緑化祭等のイベントについて、適切に開催の可否等の状況判断をしたことなどにより、効率的に予算執行ができた。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 本事業において、市、市民、事業者が協働のもとに取り組む花飾り活動や緑化活動に対して、市は活動に必要な花の種、樹木、改良土などの資材を地域住民に支援することで、花苗としてR3年度 約7.4万株、R2年度 約6.1万株、記念樹木としてR3年度 203本、R2年度 185本が都市緑化に寄与している。また、活動に対する顕彰、緑化啓発、公園等公共施設の緑化を適切に行うことで、市、市民、事業者が役割を適切に分担し協働することにより花と緑の育成事業を進めることができ、SDGs未来都市計画のゴール15KPI (都市部における緑地面積※市域から南部丘陵エリアを除いた緑地面積) 達成に寄与した。また、ゴール17の主な取組 (地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進) にも関連し、パートナーシップの形成に寄与している。

また、現在、さかいSDGs推進プラットフォーム会員として、花植えなどのボランティア活動の協力の項目をあげるなどしており、今後も、市民だけでなく企業等の参画を進めるため、企業や団体等が市民協働による緑化活動やまちづくりに容易に参画できる仕組みの構築を検討することで、更に効果を発現できるよう推進したいと考えている。